あいさつ

神戸市長　久元　喜造

第 65 回関西学生弓道選手権大会が、今年も開催されますことを心よりお祝い申しあげます。

新型コロナウイルス感染症は、今なお私たちの日常生活のさまざまな場面で大きな影響をもたらしており、出場される選手の皆様も、日々の鍛錬に多くの制約がある中で苦慮されたことと思います。

こうした中、多くの競技関係者の皆様の懸命なご尽力と、感染防止に努める市民の皆様のご協力により、各種スポーツ大会が感染対策を行いつつ再開できるようになってきたことを大変喜ばしく思います。本大会の開催においてもオンライン方式を採用され、安全面を充分に考慮していただいており、感染拡大防止へのご協力に深く感謝いたします。

弓道は身体のみならず、精神面の修練にもつながる武道・スポーツです。出場される選手の皆様におかれましては、長期間にわたるコロナ禍にあっても、工夫を凝らしながら、心身のたゆまぬ鍛錬を積み重ねてこられたことと思います。本大会では、鍛錬の成果を十分に発揮されますとともに、好成績が生まれますことを大いに期待しています。

最後になりましたが、困難な状況下においても、感染拡大防止対策や安全な大会運営に努められ、本大会の開催にご尽力いただきました関西学生弓道連盟をはじめとする関係者の皆様に深く敬意を表しますとともに、本大会のご成功を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

関西学生弓道連盟
委員長　島津　貴一

昨年中止となった，関西学生弓道選手権大会が，無事本年は開催できますことを心よりお慶び申し上げます。本大会は，当初は予選をオンラインで行い，決勝を例年通りグリーンアリーナ神戸での開催を計画していましたが，3 回目の緊急事態宣言により個人戦の中止と全面オンラインでの開催となりました。

今年で第 65 回目となる本大会は，関西の学生弓道の選手達が競い合い高め合う場であります。選手の皆様におかれましては，例年のように練習を積むことができない苦しい状況の中で，それぞれができる得る範囲で研鑽を積んできたことと存じます。それぞれが異なる立場であっても，練習の成果を発揮できるよう，オンライン大会ではありますが，本連盟役員も大会運営に尽力させていただきます。関西だけではなく，全国の学生弓道界の発展に繋がるような，白熱した戦いが繰り広げられることを期待しております。

最後になりますが，本大会の開催にあたり多大なる御支援・御協力いただいた後援団体の皆様及び加盟校の皆様に心より感謝申し上げ，委員長挨拶とさせていただきます。